



佐野市立犬伏東小学校

校長室だより No.12

鯨山 03

R03. 11. 29 令和3年11月号②

〒 327-0817 佐野市伊勢山町 1534 Tel 0283-24-2887 Fax 0283-24-3565

<http://www.schoolnet-sano.ed.jp/inubushie-e/>

学びの充実にむけて

新型コロナウイルス対策により、学びの形にも変化が求められています。学校にウイルスを持ち込ませない観点から、来校いただく外部講師の方にも健康観察の徹底をお願いしています。また、移動や密集のリスクを避ける観点から、ICTを活用したリモートでの実施や各学級での複数回実施などをお願いしています。講師の皆様方にご協力いただくことで、本物の魅力・迫力を感じる学びに感謝しております。



○6年生租税教室（左上）

○各学年食に関する授業（右上）

○4年生博物館出前授業（左下）

○5年生リモート自動車工場見学（右下）

また、県の警戒度レベル1の現状では、グループでの実験や対面での活動も行っています。友だちと協力して行う活動や自分の考えを发表或し友だちの考えを聴いたりする活動から学べることは大きいと考えます。学びの形は様々ですが、感染リスクとも向き合いながら学びの充実に目指していきたいと思ひます。



6年小中授業交流

11月22日(月)に、6年生が北中学校との小中交流授業に参加しました。授業の様子を参観したり、校長先生や生徒会から中学校生活についてのガイダンスを受けたりしました。「ノーメディアデー」など小中一貫教育の取組は行っていますが、中学校では学習内容は格段に増え、制服の着用など学校生活のルールも変わります。中学校生活への不安を解消し、スムーズなスタートをきるための取組です。保護者への説明会も12月に実施の予定です。よい準備が充実した生活につながると考えます。



早寝早起き朝ごはん

佐野市でも推進していますが、「早寝早起き朝ごはん」全国協議会が、平成30年にその効果に関する調査を行い、その結果が令和3年3月に公表されています。(サイトにも掲載されています。)

＜結果の抜粋＞子どもの頃「早寝早起き朝ごはん」という規則正しい生活を送っていた人ほど、大人になった現在の資質・能力が高い傾向がみられる。また、年代別に見ると、年代が若い人ほど相関が強かったそうです。

○これから朝の寒さが厳しくなりますが、早寝早起きをがんばりましょう。

では、朝食のメニューは何がよいのか。千葉敬愛短期大学学長の明石要一教授が、小学5年生120名近くを対象に調査しています。

＜調査＞月曜日から金曜日までの5日間の朝食をカメラに収めてもらい、パンが4回以上を「パン派」、米飯が4回以上を「米飯派」、それ以外を「ミックス派」と分類し、子どもの生活リズムや学校生活との関係を考察しました。

＜結果＞この調査では「パン派」40%、「ミックス派」35%、「米飯派」25%でした。そして、「米飯派」の子どもの生活リズムが一番確立しており、テレビなどの視聴時間が短く、学校生活が楽しいと回答していたそうです。

なぜ、朝食は「米飯」がよい結果だったのでしょうか？ 明石教授は次の3つを理由にあげています。①米飯の方が多様なおかずが用意され栄養のバランスが取れている。②米飯の方がかむ回数が多い。かむことで脳が刺激され、朝から集中できる。③朝食を用意する親の「段取り」が影響している。米飯の場合、寝る前からメニューを考え用意しタイマーもセットするだろうと。

○12月7日(火)には、佐野市一斉の「お弁当の日」があります。食を通して子どもたちには、自身の健康や家族への思いを見つめて欲しいと考えます。



持久走がんばりました!!

10月の校長室だよりでもお知らせしましたが、体育の授業で持久走を行っています。練習を始めた頃のぎこちなかった走りが、今週あたりは力強い走りになってきました。続けること、苦し



くてもがんばることが成長につながることを感じてくれたと思います。記録の伸びには個人差がありますが、練習に取り組む真摯な姿や友だちの走りに声援をおくる姿に「東っ子」の素晴らしさを感じました。ご家庭でも、健康管理等お世話になりました。

